

令和5年度 漂着ごみ組成調査

4.1.2 漂着ごみの組成比

(1) 人工物と自然物の組成比

本調査における人工物と自然物の漂着ごみの組成比は、表 4.1-4及び図 4.1-1に示すとおりである。これによれば、人工物と自然物の合計は、個数 3,516 個、容積 809.6ℓ、重量 120.4kg であった。

漂着したごみのほとんどが「人工物」であり、個数では、ほぼ 100%、容積では、74.5%、重量では、68.4%であった。

表 4.1-4 漂着ごみの組成比【人工物・自然物】

	個数		容積 (L)		重量 (kg)	
	個	割合	(L)	割合	(kg)	割合
人工物	3,515	100.0%	603.5	74.5%	82.4	68.4%
自然物	1	0.0%	206.1	25.5%	38.0	31.6%
合計	3,516	100.0%	809.6	100.0%	120.4	100.0%

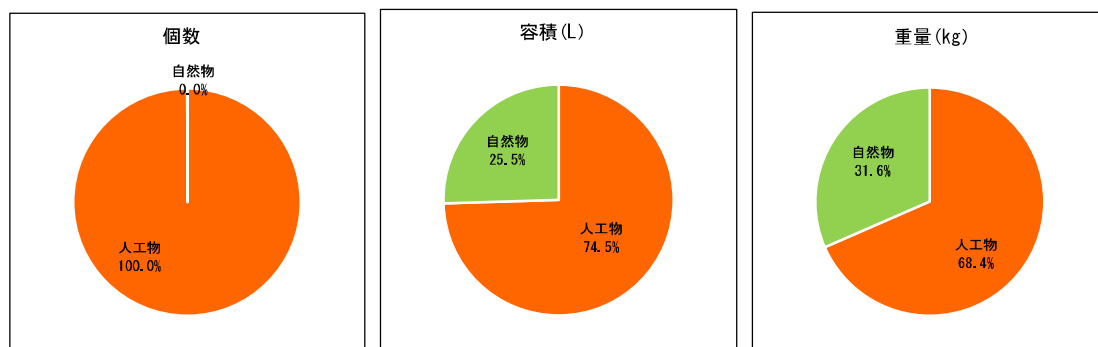


図 4.1-1 漂着ごみの組成比【人工物・自然物】

(2) 人工物の大分類別組成比

本調査における人工物の大分類別組成比は、表 4.1-5及び図 4.1-2に示すとおりである。これによれば、本調査における人工物のうち「プラスチック」の割合が高く、個数では、96.4%、容積では、61.0%、重量では、70.8%であった。

表 4.1-5 人工物の大分類別組成比

	個数		容積 (L)		重量 (kg)	
	個	割合	(L)	割合	(kg)	割合
プラスチック	3,387	96.4%	368.2	61.0%	58.3	70.8%
発泡スチロール	79	2.2%	189.9	31.5%	4.9	6.0%
ゴム	10	0.3%	3.1	0.5%	0.4	0.5%
ガラス、陶器	7	0.2%	4.1	0.7%	0.6	0.7%
金属	13	0.4%	3.1	0.5%	0.5	0.6%
紙、段ボール	7	0.2%	3.8	0.6%	0.2	0.3%
天然繊維	1	0.0%	0.2	0.0%	0.0	0.0%
木(木材等)	11	0.3%	31.1	5.1%	17.4	21.1%
電化製品、電子機器	0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
合計	3,515	100.0%	603.5	100.0%	82.4	100.0%

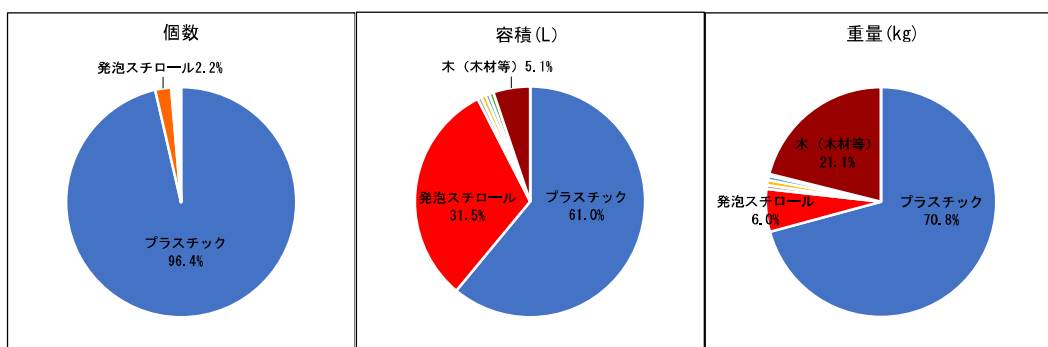


図 4.1-2 人工物の大分類別組成比

(3) 品目別組成比

本調査における漂着ごみを品目ごとに集計し、人工物のうち上位 10 位を整理した結果は、表 4.1-6に示すとおりである。

個数では、食品の容器包装（38.1%）及びロープ、ひも（漁具）（35.7%）が多かった。

容積では、発泡スチロールの破片（29.8%）及びロープ、ひも（漁具）（23.2%）が多かった。

重量では、ロープ、ひも（漁具）（51.9%）及び木材（物流用パレット、木炭等含む）（21.1%）が多かった。

表 4.1-6 品目別組成比

個数/R5	個数		容積/R5	容積	
	個	割合		L	割合
食品の容器包装	1,263	38.1%	発泡スチロールの破片	180.0	29.8%
ロープ、ひも（漁具）	1,185	35.7%	ロープ、ひも（漁具）	140.0	23.2%
ボトルのキャップ、ふた	276	8.3%	食品の容器包装	62.1	10.3%
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	236	7.1%	硬質プラスチック破片	49.7	8.2%
食品容器（発泡スチロール）	74	2.2%	木材（物流用パレット、木炭等含む）	31.1	5.1%
浮子（フイ）（漁具）	67	2.0%	飲料用（ペットボトル）<1L	25.5	4.2%
プラスチック 食品容器	62	1.9%	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	18.6	3.1%
レジ袋	54	1.6%	飲料用（ペットボトル）≥1L	15.0	2.5%
飲料用（ペットボトル）<1L	53	1.6%	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	9.8	1.6%
ストロー	33	1.0%	その他プラスチック袋	9.1	1.5%

※破片上のは集計していない

重量/R5	重量	
	kg	割合
ロープ、ひも（漁具）	42.8	51.9%
木材（物流用パレット、木炭等含む）	17.4	21.1%
発泡スチロールの破片	4.8	5.8%
硬質プラスチック破片	4.2	5.2%
食品の容器包装	2.5	3.1%
飲料用（ペットボトル）<1L	2.2	2.7%
浮子（フイ）（漁具）	1.5	1.8%
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	1.0	1.3%
ボトルのキャップ、ふた	0.9	1.1%
その他のプラボトル<1L	0.6	0.7%

4.1.3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

本調査におけるプラスチック・発泡スチロールの組成比は、表 4.1-7及び図 4.1-3に示すとおりである。これによれば、プラスチック・発泡スチロールは、合計で、個数 3,466 個、容積 558.10、重量 63.3kg であった。

個数では「容器包装 (52.9%)」が多く、容積では「その他 (41.3%)」が多く、重量では「海域由来 (72.2%)」が多かった。内容的には、個数では、食品の容器包装が多く、容積では、発泡スチロールの破片が多く、重量ではロープ、ひも (漁具)が多かった。

表 4.1-7 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

	個数		容積 (L)		重量 (kg)	
	個	割合	(L)	割合	(kg)	割合
製品	324	9.3%	24.0	4.3%	0.8	1.3%
容器包装	1,832	52.9%	139.7	25.0%	7.7	12.1%
海域由来	1,310	37.8%	163.7	29.3%	45.7	72.2%
その他	0	0.0%	230.7	41.3%	9.1	14.4%
合計	3,466	100.0%	558.1	100.0%	63.3	100.0%

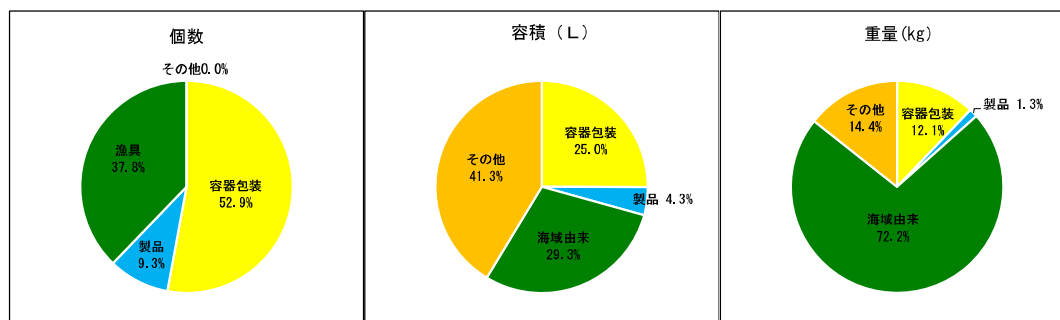


図 4.1-3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別の組成比

4.1.4 表記言語別の漂着ごみの組成比

本調査における表記言語別の漂着ごみの組成比は、表 4.1-8に示すとおりである。これによれば、「ペットボトル」及び「ペットボトルのキャップ」については「不明」が多かったが、「漁業用の浮子」については、中国・台湾 (漢字)が多かった。

表 4.1-8 表記言語別ごみの個数及び割合

個数	ペットボトル		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子	
	個	割合	個	割合	個	割合
日本	3	4.9%	8	2.9%	0	0.0%
中国・台湾 (漢字)	10	16.4%	29	10.5%	26	38.8%
韓国 (ハングル)	1	1.6%	55	19.9%	20	29.9%
ロシア (ロシア語)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
英語	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明 (文字読取れず)	47	77.0%	184	66.7%	21	31.3%
合計	61	100.0%	276	100.0%	67	100.0%

4.2 経年変化

4.2.1 漂着ごみの組成比

(1) 人工物と自然物の組成比の経年変化

人工物と自然物の組成比の経年変化は、表 4.2-1及び図 4.2-1に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して本年度の漂着ごみは、個数で約 76%、容積で約 7%、重量で約 20%となっており、大幅に減少していた。これは、本年度に日本海を通過する台風が無かったことに加え、全国的に水不足が起きるなど、例年に比較して雨が少なかったためと思われる。また、地元住民からのヒアリングの結果、この秋から冬にかけて重機を使用した海岸清掃を行っていたとの情報があった。これらの理由により、自然物の流木、灌木及び人工物の木材などの漂着が少なかったことに加え、漁業用の大型フロート（プラスチックフロート及び発泡スチロール製フロート）や浮子（プラスチックブイ及び発泡スチロール製ブイ）が 0 個であった。

このように、大型ごみが減少したことにより、容積や重量が大幅に減少し、小型のごみが残ることにより個数の減少幅は小さかったものと推測される。

表 4.2-1 人工物と自然物の組成比の経年変化

	個数 (個)			容積 (L)			重量 (kg)		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
人工物	3,515	4,605	4,678	603	8,251	19,480	82	404	700
自然物	1	89	156	206	2,190	2,548	38	235	251
合計	3,516	4,694	4,834	810	10,441	22,028	120	639	951

割合	個数割合			容積割合			重量割合		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
人工物	100.0%	98.1%	96.8%	74.5%	79.0%	88.4%	68.4%	63.2%	73.6%
自然物	0.0%	1.9%	3.2%	25.5%	21.0%	11.6%	31.6%	36.8%	26.4%

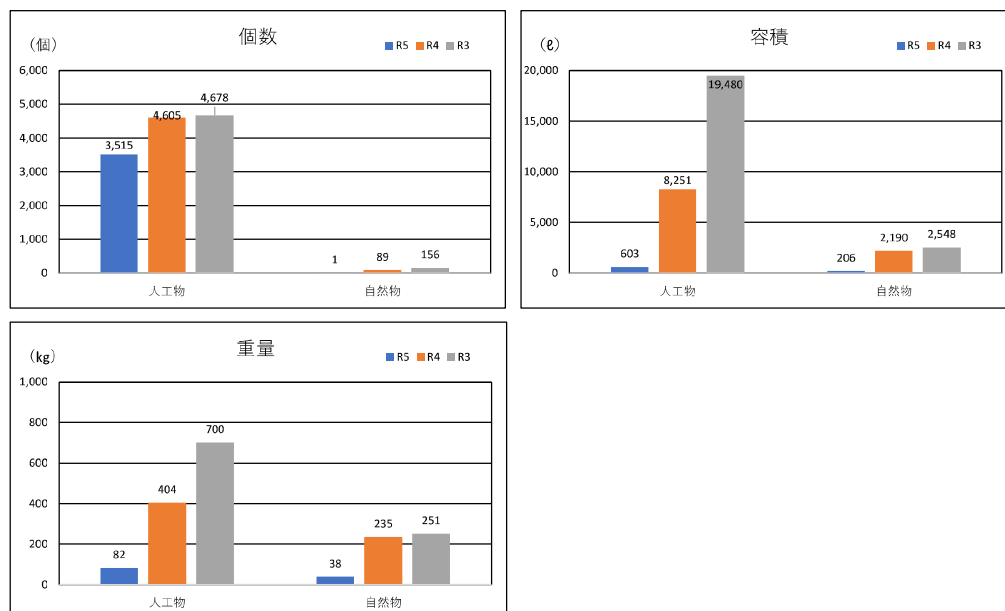


図 4.2-1 人工物と自然物の組成比の経年変化

(2) 品目別組成比の経年変化

人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-2に示すとおりである。

これによれば、昨年度と比較して個数では、ボトルのキャップ、ふたや飲料用（ペットボトル）<1L が大幅に減少し、食品の容器包装やロープ、ひも（漁具）などが増加していた。容積及び重量では、昨年度まで見られた発泡スチロール製フロート・浮子が見られなかった。

表 4.2-2 (1) 品目別組成比の経年変化（個数）

品目	個数/R5		個数/R4		個数/R3			
	個	割合	個	割合	個	割合		
食品の容器包装	1,263	38.1%	ボトルのキャップ、ふた	1,037	22.5%	飲料用（ペットボトル）<1L	1,205	25.8%
ロープ、ひも（漁具）	1,185	35.7%	飲料用（ペットボトル）<1L	539	11.7%	その他のプラボトル<1L	424	9.1%
ボトルのキャップ、ふた	276	8.3%	ウレタン	288	6.3%	飲料用（ペットボトル）≥1L	401	8.6%
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	236	7.1%	ロープ、ひも（漁具）	230	5.0%	浮子（ブイ）（漁具）	291	6.2%
食品容器（発泡スチロール）	74	2.2%	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	196	4.3%	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	282	6.0%
浮子（ブイ）（漁具）	67	2.0%	食品の容器包装	187	4.1%	ボトルのキャップ、ふた	234	5.0%
プラスチック 食品容器	62	1.9%	浮子（ブイ）（漁具）	185	4.0%	食品容器	181	3.9%
レジ袋	54	1.6%	木材（物流用パレット、木炭等含む）	158	3.4%	ウレタン	150	3.2%
飲料用（ペットボトル）<1L	53	1.6%	発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	157	3.4%	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	141	3.0%
ストロー	33	1.0%	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	153	3.3%	靴（サンダル、靴底含む）	134	2.9%

表 4.2-2 (2) 品目別組成比の経年変化（容積）

品目	容積/R5		容積/R4		容積/R3			
	L	割合	L	割合	L	割合		
発泡スチロールの破片	180.0	29.8%	発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	2,108	25.5%	発泡スチロール製フロート・浮子（ブイ）	6,048	31.0%
ロープ、ひも（漁具）	140.0	23.2%	発泡スチロールの破片	1,080	13.1%	硬質プラスチック破片	2,560	13.1%
食品の容器包装	62.1	10.3%	硬質プラスチック破片	1,036	12.6%	発泡スチロールの破片	1,944	10.0%
硬質プラスチック破片	49.7	8.2%	木材（物流用パレット、木炭等含む）	821	9.9%	発泡スチロール（トロ箱の破片）	1,140	5.9%
木材（物流用パレット、木炭等含む）	31.1	5.1%	飲料用（ペットボトル）<1L	540	6.5%	飲料用（ペットボトル）<1L	1,120	5.7%
飲料用（ペットボトル）<1L	25.5	4.2%	飲料用（ペットボトル）≥1L	450	5.5%	飲料用（ペットボトル）≥1L	1,095	5.6%
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	18.6	3.1%	浮子（ブイ）（漁具）	364	4.4%	浮子（ブイ）（漁具）	1,087	5.6%
飲料用（ペットボトル）≥1L	15.0	2.5%	その他のプラボトル類≥1L	296	3.6%	その他のプラボトル類≥1L	794	4.1%
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	9.8	1.6%	プラスチック、その他	258	3.1%	プラスチック、その他	706	3.6%
その他プラスチック袋	9.1	1.5%	アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	176	2.1%	ロープ、ひも（漁具）	600	3.1%

表 4.2-2 (3) 品目別組成比の経年変化 (重量)

重量/R5	重量		重量/R4	重量	
	kg	割合		kg	割合
ロープ、ひも (漁具)	42.8	51.9%	木材 (物流用パレット、木炭等含む)	130	32.2%
木材 (物流用パレット、木炭等含む)	17.4	21.1%	硬質プラスチック破片	57	14.2%
発泡スチロールの破片	4.8	5.8%	発泡スチロール製フロート・浮子 (ブイ)	51	12.7%
硬質プラスチック破片	4.2	5.2%	発泡スチロールの破片	28	7.0%
食品の容器包装	2.5	3.1%	浮子 (ブイ) (漁具)	27	6.8%
飲料用 (ペットボトル) <1L	2.2	2.7%	その他のプラボトル類 ≥1L	14	3.4%
浮子 (ブイ) (漁具)	1.5	1.8%	飲料用 (ペットボトル) <1L	13	3.3%
アナゴ筒 (フタ、筒) (漁具)	1.0	1.3%	プラスチック、その他	12	2.9%
ボトルのキャップ、ふた	0.9	1.1%	靴 (サンダル、靴底含む)	9	2.1%
その他のプラボトル <1L	0.6	0.7%	飲料用 (ペットボトル) ≥1L	8	2.0%

重量/R3	重量	
	kg	割合
木材 (物流用パレット、木炭等含む)	121	17.3%
発泡スチロール製フロート・浮子 (ブイ)	102	14.5%
硬質プラスチック破片	85	12.1%
浮子 (ブイ) (漁具)	63	9.1%
ロープ、ひも (漁具)	58	8.3%
飲料用 (ペットボトル) <1L	52	7.5%
飲料用 (ペットボトル) ≥1L	35	5.0%
発泡スチロールの破片	32	4.6%
プラスチック、その他	29	4.1%
その他のプラボトル類 ≥1L	23	3.3%

(3) 人工物の大分類別組成比の経年変化

人工物の大分類別組成比の経年変化は、表 4.2-3及び図 4.2-2に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して個数では、発泡スチロール、ゴム及び木 (木材等) が減少していた。容積及び重量では、プラスチック及び発泡スチロールが大幅に減少していた。

表 4.2-3 人工物の大分類別組成比の経年変化

	個数 (個)			容積 (L)			重量 (kg)		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
プラスチック	3,387	3,965	4,040	368	3,844	9,453	58	173	404
発泡スチロール	79	229	222	190	3,359	9,182	5	81	146
ゴム	10	145	157	3	163	148	0	13	17
ガラス、陶器	7	28	44	4	19	29	1	5	7
金属	13	48	68	3	24	48	0	1	3
紙、段ボール	7	32	20	4	22	8	0	1	0
天然繊維	1	0	0	0	0	0	0	0	0
木 (木材等)	11	158	126	31	821	611	17	130	123
電化製品、電子機器	0	0	1	0	0	1	0	0	0
合計	3,515	4,605	4,678	603	8,251	19,480	82	404	700

割合	個数割合			容積割合			重量割合		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
プラスチック	96.4%	86.1%	86.4%	61.0%	46.6%	48.5%	70.8%	42.9%	57.7%
発泡スチロール	2.2%	5.0%	4.7%	31.5%	40.7%	47.1%	6.0%	20.0%	20.8%
ゴム	0.3%	3.1%	3.4%	0.5%	2.0%	0.8%	0.5%	3.2%	2.4%
ガラス、陶器	0.2%	0.6%	0.9%	0.7%	0.2%	0.1%	0.7%	1.2%	0.9%
金属	0.4%	1.0%	1.5%	0.5%	0.3%	0.2%	0.6%	0.3%	0.5%
紙、段ボール	0.2%	0.7%	0.4%	0.6%	0.3%	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%
天然繊維	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
木 (木材等)	0.3%	3.4%	2.7%	5.1%	9.9%	3.1%	21.1%	32.2%	17.6%
電化製品、電子機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

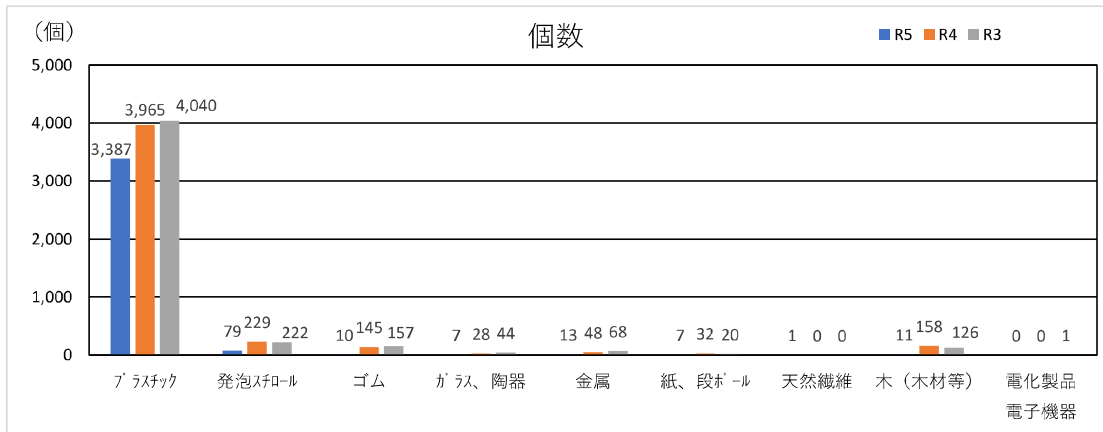


図 4.2-2 (1) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (個数)

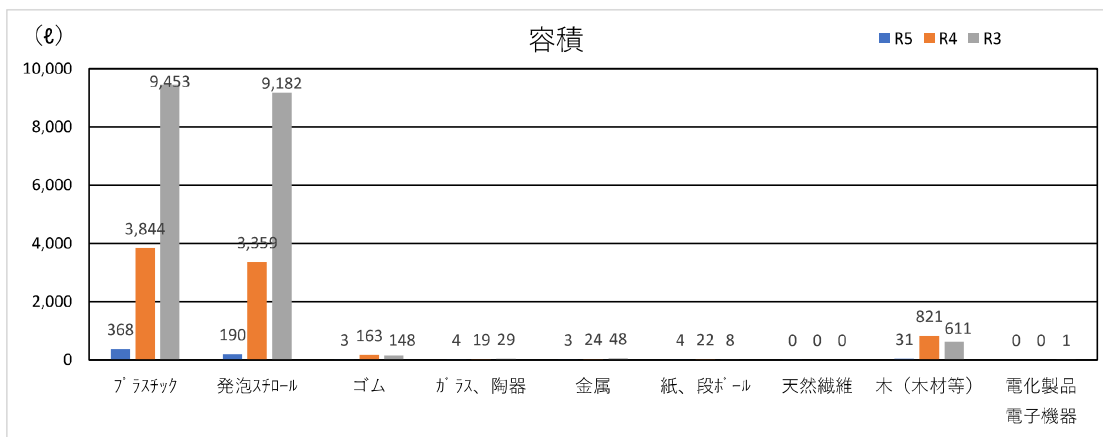


図 4.2-2 (2) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (容積)

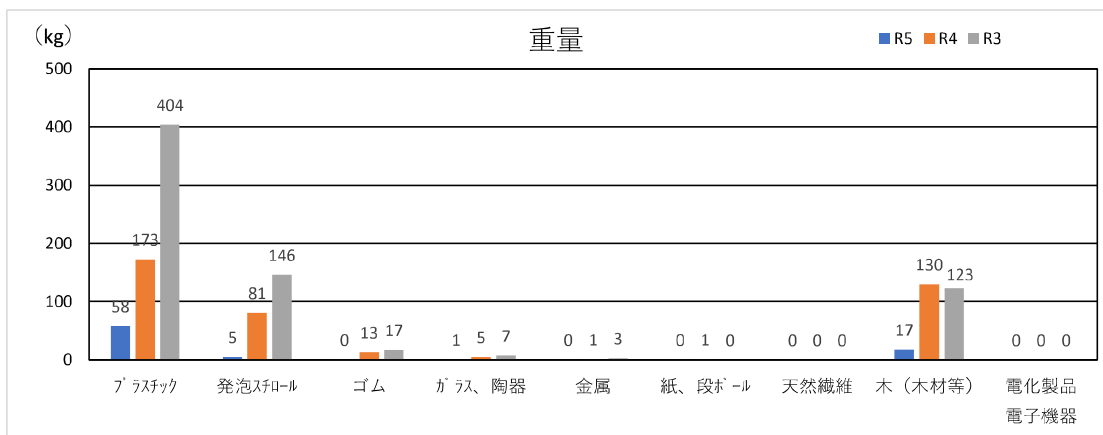


図 4.2-2 (3) 人工物の大分類別組成比の経年変化 (重量)

4.2.2 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化は、表 4.2-4及び図 4.2-3に示すとおりである。これによれば、昨年度と比較して個数では、海域由来以外のものが大幅に減少していた。なお、海域由来では短い（切れ端）ロープ、ひも（漁具）が多くあった。容積及び重量では全てのものが大幅に減少していた。

表 4.2-4 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

	個数（個）			容積（L）			重量（kg）		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
製品	324	634	329	24	319	603	1	15	25
容器包装	1,832	2,391	2,881	140	1,799	3,669	8	53	141
海域由来	1,310	881	902	164	2,771	8,423	46	93	248
その他	0	288	150	231	2,314	5,941	9	93	136
合計	3,466	4,194	4,262	558	7,203	18,635	63	254	550

割合	個数割合			容積割合			重量割合		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
製品	9.3%	15.1%	7.7%	4.3%	4.4%	3.2%	1.3%	5.8%	4.5%
容器包装	52.9%	57.0%	67.6%	25.0%	25.0%	19.7%	12.1%	21.0%	25.7%
海域由来	37.8%	21.0%	21.2%	29.3%	38.5%	45.2%	72.2%	36.8%	45.1%
その他	0.0%	6.9%	3.5%	41.3%	32.1%	31.9%	14.4%	36.5%	24.7%

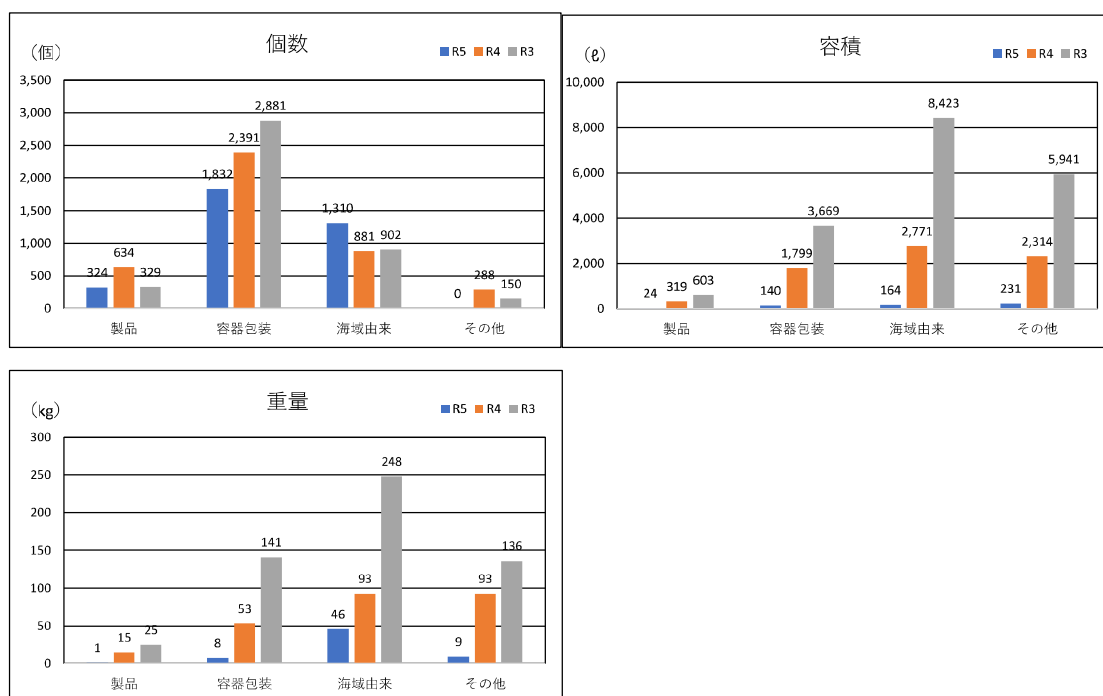


図 4.2-3 プラスチック・発泡スチロールのプラ分類別組成比の経年変化

4.2.3 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化は、表 4.2-5及び図 4.2-4に示すとおりである。これによれば、本年度の漁業用の浮子以外では不明が最も多いが、判別出来るものでは、中国・台湾及び韓国からの漂着物が多い傾向にあった。

表 4.2-5 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

個数	ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
日本	3	16	147	8	46	7	0	0	1
中国・台湾（漢字）	10	40	207	29	119	7	26	51	31
韓国（ハングル）	1	19	142	55	81	19	20	29	57
ロシア（ロシア語）	0	0	1	0	0	0	0	0	0
英語	0	0	16	0	81	5	0	0	0
その他	0	1	13	0	0	0	0	0	0
不明（文字読取れず）	47	612	1,080	184	710	84	21	262	315
合計	61	688	1,606	276	1,037	122	67	342	404

割合	ペットボトル			ペットボトルのキャップ			漁業用の浮子		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
日本	4.9%	2.3%	9.2%	2.9%	4.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.2%
中国・台湾（漢字）	16.4%	5.8%	12.9%	10.5%	11.5%	5.7%	38.8%	14.9%	7.7%
韓国（ハングル）	1.6%	2.8%	8.8%	19.9%	7.8%	15.6%	29.9%	8.5%	14.1%
ロシア（ロシア語）	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
英語	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	7.8%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明（文字読取れず）	77.0%	89.0%	67.2%	66.7%	68.5%	68.9%	31.3%	76.6%	78.0%

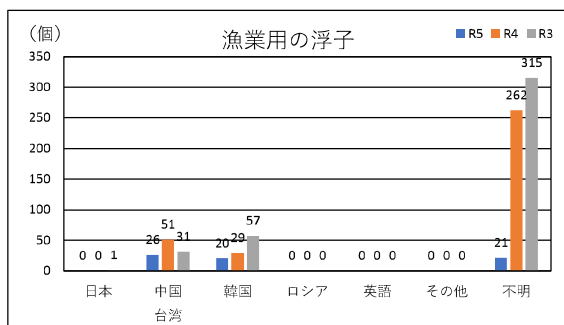
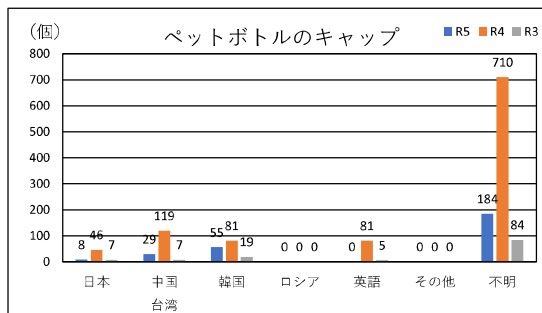
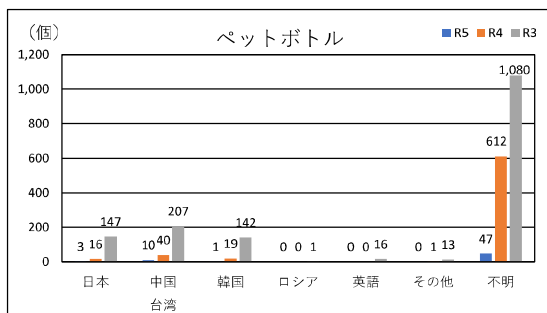


図 4.2-4 表記言語別の漂着ごみの組成比の経年変化

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール	3	0.662	0.205
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)	7	1.656	0.205
		ゴムの破片		0.828	0.026
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載			
		その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器	4	0.600	0.413
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球	2	0.331	0.138
		蛍光管	1	3.140	0.065
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ			
		アルミの飲料缶	5	1.400	0.094
		スチール製飲料用缶			
		金属製コップ、食器			
		フォーク・ナイフ・スプーン等			
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	4	1.550	0.371
		金属片			
		ワイヤー、針金	4	0.166	0.014
		金属製漁具			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	1	0.300	0.045
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)	6	2.800	0.130
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)		0.662	0.037
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他	1	0.248	0.016
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	11	31.050	17.350
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載()			
		その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		170.775	17.500
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	1	35.325	20.500
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(竹)			
		その他			
その他	その他	その他1()			
		その他2()			
		その他3()			
人力で動かせない物	緯度:35.31030 経度:132.58380	ごみの種類(ロープ、ひも、漁網(漁具))	3	60.000	20.000

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

